

## 日中ビジネスのキーパーソン育成 企業のマッチングの場を目指す

アジア・国際経営戦略学会 会長

### 池島政広氏

——亜細亜大学大学院のアジア・国際経営戦略研究科を母体とするアジア・国際経営戦略学会（AIBS）では、日中、アジアで活躍するビジネスパーソンを育成している。

「アジア・国際経営戦略研究科は、日本のビジネスマンとアジア諸国からの留学生を迎え入れ、実学重視の科目を編成。在中国の日系企業とのパートナーシップによる現地研修などが特徴で、24名の講師の半分は日中ビジネスの第一線で活躍する専門家だ。07年、同研究科を母体にAIBSを立ち上げ、産業界の協力の下、日中、さらにアジア全域で活躍するビジネスパーソンの育成に力を入れている」

——昨年10月にAIBS上海支部を設立した。

「通常、学会は座学中心だが、AIBSは開かれた、アクティブな学会を志向している。上海支部を設立したのは、在中国の日系企業にもAIBSへ参加いただき、いっしょになって日中ビジネスのキーパーソンを育てていくためだ」

——今年10月31日、上海で第3回目の「日

中エグゼクティブセミナー」を開催した。

「今回は日本から中国人留学生を中心としたAIBSの学生44名が参加し、上海の大手日系企業を訪問、また日系企業代表による講演を聴講



『東アジア共同体構想』を人材育成の側面から支援できたらと意気込む池島氏

した。さらに、上海での就職を希望する学生向けに『リクルートセミナー』も実施した」

——池島先生は経営学の専門家。中国の日系企業の経営課題をどう見ているのか。

「中国を巨大な消費市場として捉え、内販に取り組む日系企業が増えているが、マーケット開拓に苦戦する企業は少なくない。開拓には従来とは異なる新しいビジネスモデルが求められる。このビジネスモデルのカギを握るのが、現地企業とのパートナーシップだと見ている」

——こうした中、AIBSは日系企業と中国企業のビジネスマッチングの場を目指していく。

「日系企業からは、なかなかいいビジネスパートナーが見つからないと聞く。一方の中国企業にも日系企業のパートナーのニーズは存在する。そこで、AIBS上海支部を日系企業と中国企業の交流の場に育てたい。マッチングを含め、日中の企業がホンネで議論できるようなプラットフォームとして盛り上げていきたい」

——東アジア全体を視野に入れ、来年2月には韓国支部を設置する予定だ。

「『東アジア共同体構想』を人材育成の側面から支援できたらと考えている。韓国の大手企業とも手を組みながら、韓国支部の活動を軌道に乗せたい。将来、産業界も巻き込み、AIBSのネットワークをアジア全域に張り巡らせるのが夢だ」



右からi.project社長でAIBS副会長の飯高敏弘氏、池島氏、上海市宝山区発展改革委員会物価局副主任でAIBS上海支部長の李峯氏（学会HP：<http://saibs.org/saibs>）